

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】睦沢町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
21	2007.9.27			千葉県	睦沢町	7,804	35.59k
構想の要約		家畜排せつ物やもみ殻などのバイオマス資源を、「かずさ有機センター」で発酵分解することにより堆肥の実証・製造を行い、環境保全型農業等を推進するとともに、地域の農業振興や食育などに役立てる。また将来的には、燃料化などによるバイオマスのエネルギー化も検討している。					
構想に盛り込まれた事業		①もみ殻・家畜排泄物の資源化 ②農業集落排水処理汚泥の資源化 ③遊休農地を活用した景観植物の栽培・燃料の製造 ④稲わら、広葉樹材、竹材及び人工林の間伐材、剪定枝等の資源化 ⑤生ごみ等の未利用バイオマス資源の堆肥化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材	○		
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

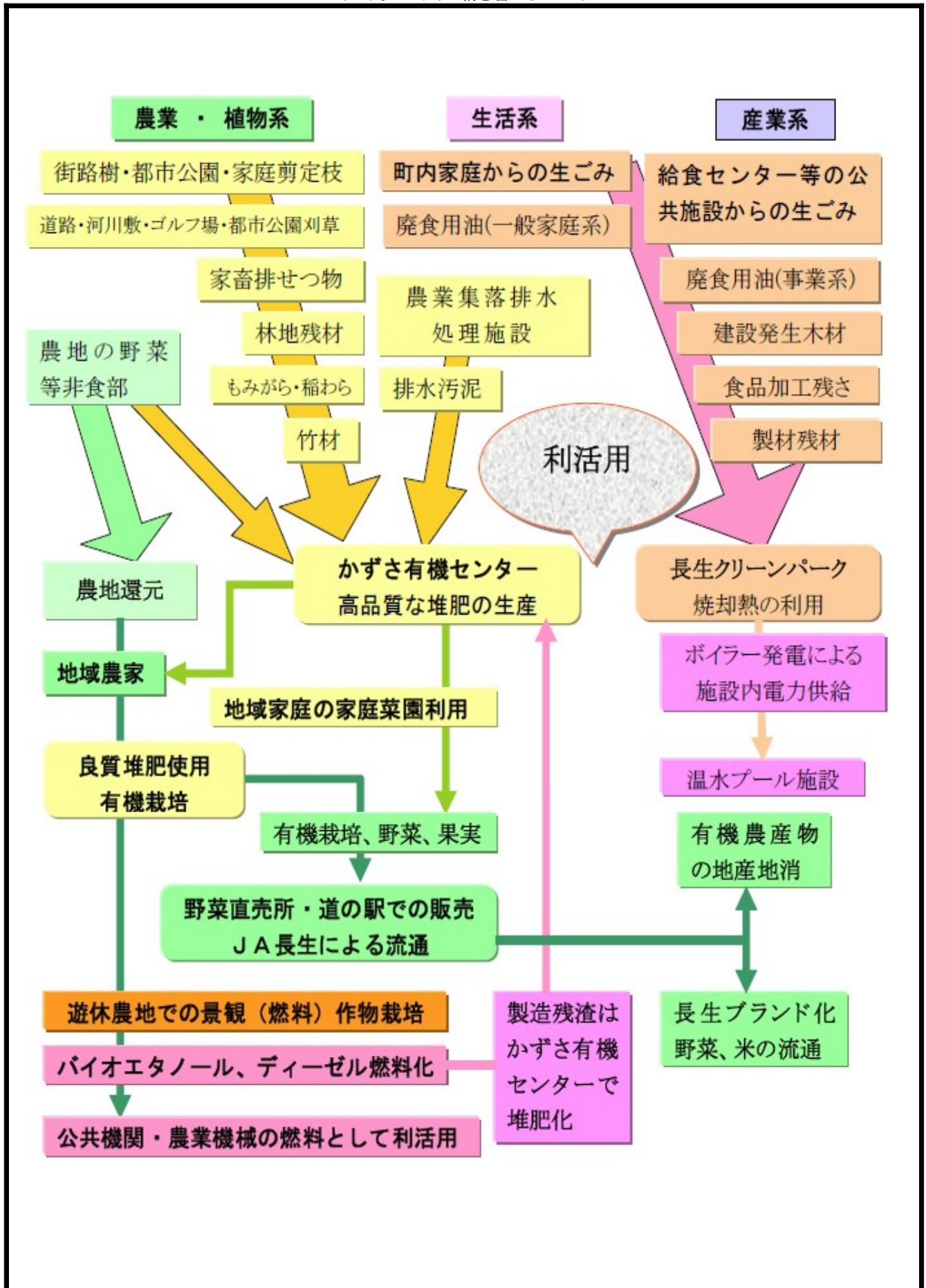
バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量		変換・処理方法	現在の仕向量		利用・販売	将来の仕向量		利用率
	福潤)	炭素換算)		福潤)	炭素換算)		福潤)	炭素換算)	
(廃棄物系バイオマス)		1,727			716			1,427	82.6%
家畜排せつ物	23,720	1,415	堆肥化	11,860	708	農地還元	23,720	1,415	100%
生ごみ	400	18	焼却処理						未利用
食品加工残さ	600	27	焼却処理						未利用
廃食用油(事業系)	60	43	焼却処理						未利用
廃食用油(一般家庭系)	10	7	焼却処理						未利用
製材残材	280	62							未利用
建設発生木材	200	88							未利用
街路樹・都市公園・家庭剪定枝	200	45	焼却処理	20	4	農地還元	20	4	10%
道路・河川敷・都市公園刈草	220	18	焼却処理	44	4	農地還元	44	4	20%
農業集落排水汚泥	38	4	焼却処理				38	4	100%
(未利用バイオマス)		3,046			230			1,271	41.7%
稲わら	3,080	882	堆肥化等	616	176	農地還元	462	132	15%
もみがら	740	212	焼却処理、未処理	148	42	農地還元	740	212	100%
野菜等非食部	1,500	123	堆肥化等	150	12	農地還元	150	12	10%
林地残材	180	39	林内自然腐食				90	20	50%
竹材	470	84	林内自然腐食				235	42	50%
間伐対象木	7,840	1,706	林内自然腐食				3,920	853	50%

バイオマスタウン構想概要図
 (バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)